

子育て総合支援施設 KIT 実習風景

こども教育学科2年生「基礎研究演習Ⅱ」の授業では、多様な体験実習を行います。
本学子育て総合支援施設 KIT における実習もその1つです。

<ときわんクニヅカ実習風景>



8月17日～21日の5日間、保育者養成コースの2年生が、「ときわんクニヅカ」と「ときわんモトロク」に分かれて1日体験実習を行いました。

【写真1枚目】

ちょうど、この日は8月生まれのお誕生会の日で、指導員の先生方の素敵な企画のもと、子どもとお母さんの嬉しい時間を共に共有させて頂きました。

学生は、保育者になったら、指導員の先生方のなさっている活動をする立場になるのだと思いながら見学していました。

楽しみ!と思う反面、もっと技術を向上させておかないと!・・・しっかり小さな子どもの発達を理解できるようにならなくては!・・・と実感した表情でした。

【写真2枚目】

「ときわんクニヅカ」では夏祭りが近いということで、その準備物作りもさせて頂きました。

保育の仕事は、子どもと関わるだけではなく、子どもが楽しく過ごせるように、しっかり準備をしておくことも大切だと、学んだようです。

【写真3枚目】

「ときわんモトロク」は、ゆっくり子どもとその保護者に関わり合える環境でした。程よい広さの環境に慣れている子どもは、お母さんと一緒なので実習生に近づいてくれました。赤ちゃんも抱っこさせてもらいました。

毎日の検温と二週間前から行動自粛等、学生は新型コロナウイルス対策を万全にして、実習に臨みました。

❖KIT は神戸常盤大学が運営する子育て総合支援施設です。その中でも「ときわんクニヅカ」「ときわんモトロク」は小さなお子さんや保護者の方が集う子育て支援センターになります。

詳細はこちらでご覧ください→<http://kit.kobe-tokiwa.ac.jp/>



<ときわんモトロク実習風景>

